

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園長は透明性があり開かれた園となる運営をし、子どもの最善の利益に資するよう子どもや保護者に寄り添う保育を大切にしています
	内容	チームとして保育に取り組む事を基本とし、保護者や職員にとって透明性があり開かれた園を目指しています。そのため情報の発信や共有には十分な配慮をし、それらの対応が信頼関係となり、園の雰囲気が良い、安心できる、相談がしやすいなどの保護者の声となり、利用者調査結果に表れています。園運営や保育の中で生じる課題には、子どもの最善の利益を考慮しながら全職員で話し合い、協力して迅速に対応しています。子どもや保護者に寄り添い、園長が全体的な責任を持ち、主任、副主任、リーダー層が役割りを認識した組織的な活動となっています。
2	タイトル	戸外遊びや絵本の読み聞かせを中心に、健康体育、わらべうたなどを保育に取り入れ健康な体づくりと豊かな情操を培っています
	内容	健康な体づくりを目指し、年間を通して裸足保育や健康体育を取り入れています。子どもの活動の中でも戸外活動は、自然を感じる事や地域との交流などにつながるため、園庭遊びや、ほぼ毎日散歩に出かけて遊ぶことを大切にしています。絵本の読み聞かせやわらべうた、リズム、造形などは0歳児から楽しむ事を大事にして取り組み、造形では子どもの感触や感覚の発達にもなるため、絵の具遊びも行っています。子どもの「やりたい」「やってみたら楽しいね」を大事にしなが、おとなとともに楽しみながら子どもたちの豊かな情操を培っています。
3	タイトル	3～5歳児は3人組の異年齢グループを作り活動する日を設け、遊びの伝承などを通して思いやりの心が育つように配慮しています
	内容	3～5歳児クラスでは3、4、5歳児の3人組の異年齢グループを作っています。3人でいっしょに活動する日を設け、さまざまな活動をしています。散歩に出かけて集団遊びを楽しむ事や、卒園児一人ひとりにプレゼントする製作物を協力しながら作るなど、異年齢グループでの生活、遊びの伝承の活動を通して、子ども同士思いやりの心が育つよう配慮しています。5歳児は乳児クラスに生活のお世話に行ったり、お祭り前には盆踊りを踊りに行くなど、3～5歳児だけでなく異年齢児とのかかわりを大切にしながら保育を進めています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域交流や子育て支援活動については、対策を講じて可能な事から実施していく事を期待します
	内容	地域交流や子育て支援活動については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染防止の観点から思うような展開ができない状況となっています。従来は、0～2歳児向けに半日保育体験として未就園児の親子が来園し同年齢の子どものクラスで過ごし、体験する企画でしたが、前年度より園庭開放に切り換え、今年度は園ホームページに日程を周知し4～6月に実施できました。しかし、近隣の家庭的保育室との交流を計画していましたが中止する決断をしています。ICT機器の活用や感染防止策などを講じて、可能な事から実施していく事を期待します。
2	タイトル	組織的な保育活動を向上させていくため、非常勤職員との情報共有の工夫が望まれます
	内容	職員会議では重要課題の検討や情報伝達、内部研修などを月に3回実施し、園運営の軸としています。多くの職員が参加できるように午睡の時間帯に開催し、職員として理解し共有すべき事などを明確にしています。しかし、非常勤職員は勤務時間などの関係から会議や研修に出席できないことがあり、欠席した場合は会議録だけではなく口頭でも伝えていきますが、理念などの理解を深めていく取り組みや研修の共有化は難しいと感じています。組織的な活動の質を向上させていくため、リモートでの研修など非常勤職員との情報共有の工夫が望まれます。
3	タイトル	魅力ある職場とするためICT化を推進し、働き方改革にもつながる取り組みを期待します
	内容	今年度の事業計画の重点運営方針として、前年度に引き続き魅力ある職場とするためICT化を推進していく事を掲げています。保護者との連絡では、園を休む場合に連絡用アプリを使用することや、玄関のタブレットで登降園時間を記録するなどを行い、今年度は園だよりなどの配信を始めました。未導入のクラスだよりやおたより帳、お知らせの配信、保護者面談、説明会のオンライン化を期待する声も出ています。ICT化は業務効率化や職員の育成面での活用など、働き方改革にもつながります。導入時の苦労はありますが積極的な取り組みを期待します。



## ひよほ保育園の保護者の皆様へ

2022年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である福祉サービス研究会が作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「どうきょう福祉ナビゲーション」のホームページ（<https://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>）からご覧いただけます。

### 福祉サービス第三者評価結果概要

#### 特に優れている点

園長は透明性があり開かれた園となる運営をし、子どもの最善の利益に資するよう子どもや保護者に寄り添い保育を大切にしています。

チームとして保育に取り組む事を基本とし、保護者や職員にとっても透明性が図られた園を目標としています。そのため情報の共有には十分な配慮をし、それらの対応が信頼関係を通り、園の雰囲気が良い、安心できる、相談がしやすいなどの保護者の声となり、利用者調査結果に表れています。園運営や保育の中で生じる課題には、子どもの最善の利益を考慮しながら全職員で話し合い、協力して迅速に対応しています。子どもや保護者に寄り添い、園長が主体的な責任を持ち、主任、副主任、リーダー層が役割を認識した組織的な活動となっています。

戶外遊びや絵本の読み聞かせを中心に、健康体育、わらわらたなど保育に取り入れ健康な体づくりと豊かな情操を培っています。

健康な体づくりを目的とし、年間を通して課外保育や健康体育を取り入れていきます。子どもの活動の中でも戶外活動は、自然を感じる事や地域との交流などにつながるため、園庭遊びや、ほほ毎日散歩に出かけて遊ぶことを大切にしています。絵本の読み聞かせやわらわらた、リズム、造形などは0歳児から楽しみ遊ぶ事にして遊び組み、造形では子どもの感動や感覚の発達にもなるため、絵の身体遊びも行っていきます。子どもの「やりたい」「やってみたい楽しめね」を大事にしながら、おとなも子どもにも楽しめながら子どもたちの豊かな情操を培っています。

3～5歳児は3人組の異年齢グループを作り活動する日を設定、遊びの伝承なども通じて思いやりや心が育つように配慮しています。

3～5歳児クラスでは、3、4、5歳児の3人組の異年齢グループを作っています。3人でいっしょに活動する日を設け、さまざまな活動をしていきます。散歩に出かけて異年齢グループを楽しむ事や、卒園児一人ひとりにプレゼントする製作物を協力しながら作るなど、異年齢グループでの生活、遊びの伝承の活動を通して、子ども同士思いやりや心の育つよう配慮しています。5歳児は乳児クラスに生活のお世話に行ったり、お祭り前には絵巻道行を踊りに行くなど、3～5歳児だけでなく異年齢児とのかわりを大切にしながら保育を進めています。

#### さらなる取り組みが期待される点

地域交流や子育て支援活動については、  
地域を話し合い可能変更から実施していく事を期待します。

地域交流や子育て支援活動については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染防止の観点から思うような展開ができていない状況となっています。従来は、0～2歳児向けに半日保育体験として未就園児の親子が来園し同年齢の子どもとのクラスで過ごし、体験する企画でしたが、前年度より園庭開放に切り替え、今年度は園ホームページに日程を周知し4～6月に実施できました。しかし、近隣の家庭の保育室との交流を計画していましたが中止する決断をしています。ICT機器の活用や感染防止策などを講じて、可能な事から実施していく事を期待します。

組織的な保育活動を向上させるため、非常勤職員との情報共有の工夫が望まれます。

職員会議では重要課題の検討や情報伝達、内部研修などを月に3回実施し、園運営の軸としています。多くの職員が参加できるように午睡の時間帯に開催し、職員として理解し共有すべき事などを明確にしていきます。しかし、非常勤職員は勤務時間などの関係から会議に参加できないことがあり、欠席した場合は会議録だけではなく口頭でも伝えていきます。また、理念などの理解を深めていく取り組みや研修の共有化は難しいと感じています。組織的な活動を向上させていくために、リモートでの研修など非常勤職員との情報共有の工夫が望まれます。

魅力ある職場とするためICT化を推進し、働き方改革にもつながらる取り組みを期待します。

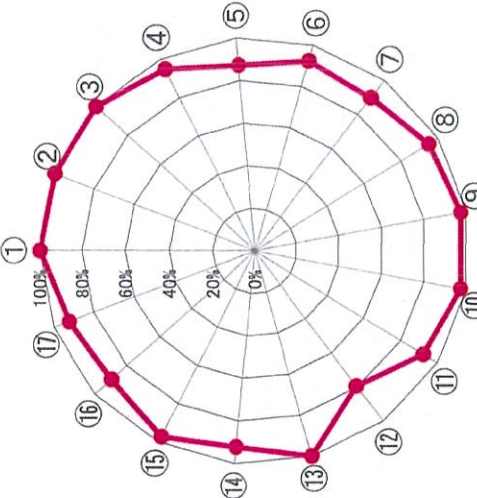
今年度の事業計画の重点運営方針として、前年度に引き続き魅力ある職場とするためICT化を推進していく事を掲げています。保護者との連絡では、園を体験する機会に連絡用アプリを使用することや、玄関のタブレットで登降園時間を記録するなどを行い、今年度は園によりよいなどの配慮を始めています。未導入のクラスだよりやおたより帳、おたよりの配信、保護者面談、説明会のオンライン化を期待する声も出ています。ICT化は業務効率化や職員の育成面での活用など、働き方改革にもつながります。導入時の差別化はありますが積極的な取り組みを期待します。

## 利用者アンケート結果概要

実施期間：2022年10月20日(木)～2022年11月3日(木) 回収率：58.2%

※11月8日到着分まで集計

### 質問別「はい」の回答率



### 園に対する総合満足度の結果



#### 〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 保育時間や自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育生活の変更は、保護者の状況に柔軟に対応しているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子ども達の保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇、態度は適切か
- ⑪ 緊急やむを得ずした際の職員との対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子ども達の気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のコミュニケーションは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員会等）にも相談できることを伝えられているか



「どうきょう福祉ナビゲーション」URL  
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>  
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R & C 評価事業部  
(認証評価機関番号 機構05-149)



### 園からのコメント

お忙しい中、アンケートの提出にご協力頂きありがとうございます。  
第三者評価で頂いたご意見は保護者の皆さまとの関係をより一層深められる貴重な機会と捉え、保育の質の向上と、お子さんを安心して預けて頂ける保育園づくりに努力してまいります。  
たいと思っています。